



保護者の皆様へ

『家まなび』の心がまえ

紀の川市教育委員会

家庭学習の大切さがあらためて注目されています。学校と保護者が連携しながら、子ども達の家庭学習への意欲を高めていきませんか。保護者の皆様の協力を得て、紀の川市の子ども達によりよい学習習慣・生活習慣が身につくように「家まなび」の心がまえをつくりました。ぜひ、ご家庭で実践していただきたくお願いします。

家庭学習をささえる5つのポイント

- ① 勉強しやすい環境をつくり、様子を見守る。
- ② 早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣をつける。
- ③ タイミングを見逃さず、認め、励まし、ほめる。
- ④ 学校での様子に関心をもつ。
- ⑤ 将来の夢や職業について関心をもち、共に語る。

小学校1、2年生の時期

何でも知りたがっています。がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。1人で学習することや、やりかたを決めることは、まだまだ難しいです。



小学校3、4年生の時期

何にでも興味を示し、行動範囲も広がってきます。好きなことに熱中するようになります。何でも自分でやろうとすることが増えてきますが、うまくできないことも多く、まだまだ手助けが必要です。

小学校5、6年～中学1年生の時期

体も心も急激に成長しますが、バランスがくずれ、不安定になることもあります。見守ってほしいと思っています。自分で出来ると思っているので、かける言葉に配慮が必要です。得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。

中学校2、3年生の時期

思春期で、個人差はあっても心・体の成長とともに揺れ動く時期です。ささいな言葉や事柄であっても、悩み、不安になったりします。子どもの部分と大人の部分を持っている時期です。「何のために勉強するのか」「自分に何が出来るか」「将来は…」と少しずつ考え、決定していきます。

◎家族の人といっしょに出来ることをきめてやりましょう。

学習習慣

- ・少ない時間でも、一緒にする。
- ・できないときは、あとで声をかける。
- ・いつも決まった場所です。
- ・勉強するときは、テレビを消す。
- ・机の上の整理整頓をする。

連携協力

- ・学校からの連絡やおたよりを一緒に確かめる。
- ・連絡帳にサインをする

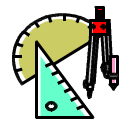


*時間のめやすは20分以上
(学年×10分+10分がめやすです)

◎子どものちょっとしたがんばりを認め、ほめましょう。家族の人の温かい励ましやアドバイスがやる気をおこします。

学習習慣

- ・学習を始める時刻を一緒に決める。
- ・テレビやゲームの時間は、家族で話し合っ決めて、守らせる。
- ・分からないところは一緒に考える。
- ・自主学習にチャレンジする。



連携協力

- ・学校からの連絡やおたよりを家族に渡す習慣をつける。
(置く場所を決めたり、食事の時に見せる)

*時間のめやすは40分以上
(学年×10分+10分がめやすです)

◎子どもの話をよく聞きましょう。昨日と比べ、認めて、ほめましょう。成長をじっくり見守ることで、目標を持ち、努力するようになります。

学習習慣

- ・学習に取り組む時間帯を決めるなど、生活リズムを整える。
- ・テレビやゲーム、パソコン等の時間を話し合っ決めて決める。
- ・計画を立てて、自力で学習を進められるようにする。
- ・まず宿題。テスト前などは、学習計画を立ててする。
- ・自主学習にチャレンジする。



連携協力

- ・家庭・学校でも、子どもの話をよく聞く

*時間のめやすは60分以上
(学年×10分+10分がめやすです)
(中学1年生は1～2時間以上、テスト前はプラスしよう)

◎子どものことを知り、思いを語り、子どもと一緒に取り組んでみましょう。手を離しつつ、目や心を離さず見守りましょう。

学習環境・習慣

- ・集中してできる静かな場所へ行く。
- ・身近なところに漫画や雑誌、パソコン等など誘惑がないようにする。
- ・テレビやゲーム、パソコン等の時間を話し合っ決めて決める。
- ・睡眠時間、朝食もきちんと取る。
- ・宿題、予習・復習、テスト前は学習計画を立ててする。
- ・自主学習に取り組む。



連携協力

- ・家庭・学校でも、子どもの話をよく聞く。

*時間のめやすは1～2時間以上
(テスト前はプラスしよう)

読書はことばとこころの玉手箱です。読書はことばの力を高めることにもつながります。